

平成24年度学力向上の取組について

函館市立鍛神小学校 学級数 20

視点1：アプローチの視点に基づいた、「組織的」で「つながり」（学びの連続性・学校内外の連携）をもった取組

重点教育目標 ○ みがきあい みんな輝く かやげの子

A 各教科・領域等における系統性や、他の教科・領域等との関連に配慮する

B 長期的な見通しをもって、学習内容を確実に定着させる

C 校内研究の進め方を見直す

D 授業公開や外部への公開・発信を生かす

取組の概要

1 取組のきっかけ

昨年度の全国学力・学習状況調査やC R Tの結果から、学習内容の定着に課題があることが明らかになった。

そこで、今年度の重点教育目標を上記の通り設定し、子どもが主体的に学ぶ授業づくり、繰り返し学習、補充学習の一層の充実により、学習内容の確実な定着を目指すこととした。

2 取組の位置付け

教務部が中心となり学力向上プランの作成及び検証を行うとともに、校内研修による実践研究を進めている。

3 取組の方法

授業においては、学習環境や学習習慣の全校統一した取組の基盤のもとで、体験活動・言語活動・交流活動を工夫し、体験と理論の往復による概念や方法の獲得、話し合い活動による思考や理解を目指している。また、学力・学習状況調査やC R Tで課題となった問題を取り上げ、指導に生かしている。さらに、校内研修において、互いに高め合い磨き合う話し合いの工夫、算数活動を通じた実感を持った経験等を通じた実践研究を行い、主体的に学ぶ授業の構築について共通理解を深めている。

繰り返し学習においては、家庭学習や朝自習と授業との的確な結び付きによって、子どもの学びが連続的に行われるようにしている。

補充学習においては、火曜日・木曜日のおはよう学習、放課後学習等を実施し、定着度調査によって明らかとなった対象児童への指導を行い、学習内容の確実な定着を目指している。

上記の学力向上への取組を検証し、次の実践に生かすことができるよう、学級経営反省会を年間4回開催している。

取組の成果と課題等

○ 取組の成果

- ・学習環境や学習習慣についての全校の共通事項を各教室に掲示し、全校が統一した指導の下で取り組んだ。
(成果) →全ての学級が落ち着いた雰囲気の中で、学習を進めることができ、児童の理解力の育成につながってきた。
各学級の足並みがそろったことで、進級時における連続的な学びが可能となった。
- ・体験活動や言語活動、交流活動を工夫した取組を進めてきた。

(成果) →活動と学びが一体となることで、児童が主体的に学び、思考力や理解力の育成につながってきた。
- ・全国学力・学習状況調査やC R Tにおける課題を指導に生かしている。
(成果) →本校児童の課題を捉え、重点的な指導を行うことができた。
全教職員による授業改善の視点を共有することができた。
- ・授業、家庭学習、朝自習、朝の補充学習を結び付け、児童が連続的に学べるようにしている。
(成果) →繰り返し学ぶことができるようになり、基礎的・基本的な知識や技能の習得につながってきた。
学びの成果を実感し、さらに主体的に学ぶ児童が増えてきた。
- ・学級経営反省会を年間4回開催している。
(成果) →児童の変容を短い間隔で捉えられるようになり、次への指導に生かせるようになった。

○ 教育課程検証の方法

- ・児童による授業評価を実施することで、学年・学級経営や授業改善等に生かすことができた。
- ・学校評価において、教員、保護者、児童のアンケートの一部を同じ項目とし、集計結果の認識のずれを把握して次の指導に生かせるよう、現在集計を進めている。